



ご存じ「SUPER-PRO」の看板モデル。左右シンメトリなデザイン。第2次大戦中太平洋戦線で主に使用された

## Feature

ハマーランド社の「SUPER-PRO」BC-779B (SP-200の軍用バージョン)はアマチュア無線家にとって忘れることのできない受信機の一つ。このシリーズは第2次世界大戦時に主に米軍が使用し、太平洋戦線に投入されたために、戦後日本で大量に放出されたことから日本のアマチュア無線家になじみが深い受信機。バンド切替スイッチとバンド・ワイズ可変シャフトは注目すべき機構。この受信機はとにかく重量級。これとは別に電源部は本体の7割程度の重量。昭和30年代には「受信機はセブン・セブン・ナイン」と誇らしげに語る交信がアマチュアバンドで聞こえた。

## Specifications

機種名	SP-200
メーカー	HAMMARLUND
製造年	1942-1950
バンド	0.54-1.16/1.16-2.5/2.5-5/5-10/10-20Mc 5BAND
形式	Single Conv
中間周波数	465kc
フィルタ	0.1/1/2/4/16kc Xtal/LC fil.
真空管数	18本, GT管
備考	重量22.3kg, 電源別, バンド・スプレッド・ダイヤル付き(100度)



受信機を3台使用したダイバシティ受信システム。カラー写真は珍しい